

「令和５年度 市民トーク」開催結果（相良地区）

以下のとおり結果を報告します。

1 日時等

- (1) 日 時 7月7日（金） 午後7時00分～午後8時30分
- (2) 会 場 牧之原市史料館
- (3) 内 容 市長からの市政報告・地区からの質問
- (4) 参加人数 54人

2 市長からの市政報告

当日の配布資料を添付

3 地区からの質問

別紙のとおり ※事前質問は回答書を配布・当日の会場での質問あり

4 当日の様子



令和５年度 市民トーク（相良地区）提出の質問・要望一覧

日時：令和５年７月７日（金）

19時～20時30分

場所：牧之原市史料館

番号	事 項 名	担当課
1	ふじのくに出会いサポートセンターの活用方策について	秘書政策課
2	高校生の市外流出について	学校教育課
3	目に見える市政運営について	秘書政策課
4	地区・区へ依頼する各種委員等の選出について	企画政策部
5	女性の区会役員等の選出について	地域振興課
6	交通安全対策と放置車両の撤去について	危機管理課
7	須々木地区の海岸防潮堤について	建設課
8	大沢地区の安全対策について	建設課
9	市有地の管理について	建設課
10	事業説明会の開催について	学校再編推進室 建設課
11	新型コロナウイルスにおける５類移行後の感染防止と行事参加について	健康推進課
12	若者の定住と少子化対策について	市政説明にて

令和 5 年度 市民トーク
相良地区（7/7 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	1.ふじのくに出会いサポートセンターの活用方策について
内 容	結婚後の出産率は以前と比べて大きくは減少していない。つまり、未婚率の増加が少子化の原因と考えられる。従って、結婚の機会を社会的に作る必要がある。県と 35 市町が運営する結婚支援拠点「ふじのくに出会いサポートセンター」があるが、ここの成果としてこの 1 年で 180 件の交際が成立。16 組が成婚に至ったと報道された。センター設立は、当初杉本市長の提案であったと聞いている。このサポートの活用について、牧之原市の実績はどうか？ 喫緊の課題である少子化に対して市としての活用方策があるかどうかお聞きしたい。 【秘書政策課】
回 答	令和 2 年度国勢調査における市内の 25 歳から 39 歳の未婚率は、男性 54.9%、女性 36.4%で、全国平均は男性で 45.8%、女性は 36.8%となり、全国平均と比較すると、市内男性未婚率は 9.1 ポイント高く、女性は 0.4 ポイント低い状況となっております。 また、内閣府の調査では、20～30 代の未婚男女の半分以上が、結婚願望があると回答しておりますが、積極的に結婚したいと思わない理由には「結婚するほど好きな人に巡り合っていないから」「結婚相手として条件をクリアできる人に巡り合えそうにないから」が上位で、結婚の意思はあるものの適当な相手に巡り合えないことが未婚要因として大きいと思われます。

	市では、このような状況を踏まえ、市単独で婚活事業を進めるのではなく、静岡県全体でサポートする仕組みが必要であると考え、県に対し、センターの設立を提案いたしました。 令和３年度には「ふじのくに出会いサポートセンター」の設立が実現し、AI マッチングによるお相手探しや、結婚に関する相談、婚活イベントの実施などを、今日にいたるまで県内各地で実施しております。 この「ふじのくに出会いサポートセンター」は、静岡県及び県内 35 市町の行政機関が共同で運営をしているため、民間のマッチングサイトと比較すると、登録料・利用料も安価であり、公的機関の支援があるため安心・安全な出会いをすることができるというのが大きな魅力となっております。 本市においても、広報 4 月号やホームページ、市公式 LINE を通じて、出張登録相談会などの広報を行っており、昨年の 12 月には静波スウィングビーチでヘアメイク付きクリスマスパーティーを開催し、今月にはカタショー・ワンラボにて謎解きイベントなどを通じて親睦を深めるイベントを開催する予定です。 本市の活用実績としましては、最大で 30 名程度の登録があった時もありますが、直近では 9 名の登録状況となっております。 今後も登録者数を増やすために、市公式 LINE で「ふじのくに出会いサポートセンター」の魅力を積極的に発信していくとともに、自治会行政連絡会等を通して各地域でパンフレットの回覧をしていただくなど、より多くの方にサポートセンターを知っていただくための取組を進めてまいりますので、相良区の皆さまにおかれましても、サポートセンターの周知や活用につきましてご協力をお願いいたします。
--	--

令和5年度 市民トーク 相良地区（7/7 開催） 質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	2.高校生の市外流出と魅力について
内 容	牧之原市は雇用の関係では昼間の人口流入が県内1位となっている。 しかし、高校生の市外への流出は歯止めがなく、本年入試でも榛原高校、相良高校ともかなりの数、定員に満たなかった。それ故、高校の存立について心配する市民も多い。 この方策には私立高校の優秀な経営努力を模倣して、県に高校入試制度の改善を提案すべきである。一つの例として、私学と同じ時期に榛原高校、相良高校の合同地区選抜を実施し、地域の子供の教育は地域高校が行うという健全な公立高校像を取り戻し、地域高校の活性化を図るべきである。国や県の施策の中にある「特区」の考え方は一般にも浸透している。 両校は地域特性を生かした大変優秀な教育を実施してきていることは衆目の一致するところである。 この実績があれば榛南地区に「教育特区」を置くよう働きかけができると思うが市長がどう思われるか聞きたい。 【学校教育課】
回 答	市内にある榛原高校・相良高校については、多くの優秀な人材育成に貢献してきた伝統校であることは、言うまでもないことであります。 近年は少子化や進路選択の多種多様化などから、両校とも定員数に満たない状況が続いており、その存続についても危惧しているところです。

御提案いただいた高校入試制度改革については、今後の再編等の動向を注視しながら、市としても地域高校の活性化に資する両校の存在意義や市民の意見を県教育委員会等に届けてまいります。

現在市内の両校は地域に根差した教育活動に積極的に取り組んでおり、そうした活動の充実によって人材育成・魅力ある学校づくりに力を入れているところであります。

具体的に、榛原高校では、「グローバルな探究活動」などを通じ「学力だけでない人間力の向上」に取り組んでいます。

また、相良高校では、SCH（スーパー地域密着型高校）を通じ、地域の人材育成を進めるとともに、商業科と連携したビジネスチャレンジサークルや近年人気を集めるサーフィンやボルダリングなどのスポーツサークルを創設し、魅力ある学校づくりに取り組んでいます。さらに総合的な探究の時間を活用した「塩づくり体験」等により伝統文化継承にも取り組み、地域に愛される学校として定着しています。

このように両校とも地域連携に力を入れた教育活動を特色として実践していることから、市としましても職員派遣や施設利用に係る支援などのバックアップをしているところです。

先日視察した岐阜県北方町では、18年間の連携した保育教育として、県立岐阜農林高校との連携を進め、高校の持つポテンシャルを取り込めるような取組を行っています。

また、身近な高校生が指導者になることで、相互に郷土愛が育まれるなどの新たな教育効果が生まれることも見込まれますので、その連携についても高校側と協議を進めてまいります。

今後も地域に愛され通いたい・通わせたい魅力ある学校として両校が選択されるよう市としても様々な活用に対して連携を深め、最大限の支援を行ってまいります。

また、学校と地域等でこれからの地元高校の在り方について（特区の件も含め）議論を重ねていただいた中で、必要だと判断された要望等については、市としても課題を踏まえ、県教育委員会を巻き

	込んで調査・研究に取り組んでまいります。 なお、県では多様性や自由を尊重する新しい教育の象徴となる国際バカロレア教育を導入する高校の創設を目指しています。 市としまして、生徒や地域にとって「魅力ある学校づくり」を目指すうえで参考になることもあるかと思いますので、今後もその取り組みを注視してまいります。
--	--

令和５年度 市民トーク
相良地区（7/7 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	3.目に見える市政運営について
内 容	1 市政運営において、目に見える形での取組が、住民からの信頼を醸成する。現市政では、この点を評価する声もある。今後、更なる見える形での取組を期待する。 2 市職員の区への対応が、細やかで丁寧に感じる。市長の座右の銘である「出来ない理由を考えるのではなく、どうしたら出来るかを考える」を感じる場面が見られて有り難い。市と区・住民が、共に手を携え、どうしたら出来るか知恵を絞って、課題解決に取り組んでいきたい。 上記１，２について市長はどのような見解をお持ちかお聞きしたい 【秘書政策課】
回 答	若者の減少などの課題に対して、当市が持つ様々な地域資源を活かし、住む魅力を高めるため、第３次総合計画に基づくまちづくりを今年度からスタートさせました。 先ほど説明した重点戦略・プロジェクトを中心として積極的に事業を展開し、市民の皆さんに、市の取組を目に見える形で示していくことで、市民の期待に応え、信頼をさらに高めていくよう努めてまいります。 また、社会経済やニーズの変化などに伴い、地域の皆さんが抱える課題も多様化している中、市職員には、「どうしたら出来るかを考

	える」姿勢で地域の皆様に対応するように話をしています。 今後も、職員は市民の立場に立ち、考え、対話を重ね、皆さまと協働・連携して問題解決に取り組んでまいります。
--	--

令和5年度 市民トーク
相良地区（7/7 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	4.地区・区へ依頼する各種委員等の選出について
内 容	人口流失と高齢化は市委託の各種委員の選出を困難にしている。その割当数は人口減少以前の数字とあまり変わらない。また、市からの要請に応じて「快く」「下請け企業」として人員の提供と職務の実施をしているが、委託仕事が多すぎて本来の自治活動の精力がそがれる傾向にある。 現実的な委員数や職務内容は市からの提示ではなく、区からのボトムアップとして貰い、少子高齢化に即した区の裁量による職務の引き受けや委員の選出を区に任せてもらいたいのが如何か。 【秘書政策課】
回 答	地区の皆さまには、市役所から様々な協議会や委員会の委員、また交通指導員や民生員児童委員など多岐にわたる委員の選出をご依頼させていただいているところであります。 地区長や区長の皆さまにあて職として委員などになっていただくものや、区民の方の中から、ご推薦をいただき委嘱・任命等させていただくものなど、市としては市民の皆さまのお力で、市が成り立っている事を認識させていただいております。 確かに少子高齢化による人口減少により、区の役員のなり手が不足していることや、おひとりの方が何役も兼ねて自治会運営を行っていることなども事実としてございます。 委員の人数については、条例や規則などに基づいているものもあり、市より「地区から何人の推薦」とお願いするものや、地域の実

	情を把握し、取組に反映させていただくために、区長様をはじめ区の代表となって委員等になっていただくものが多くございます。 市からご依頼させていただいているもの、ひとつひとつの検証検討が必要となってくるかと思いますが、少子高齢化の時代に即し、区の皆さまの負担を少しでも減らす選出となるよう検証してまいりたいと思います。 ただし、例えば消防団については、令和４年度からは定員を 560 人から 490 人に減員させ、活動の効率化などを含め時代に即した定員とさせていただいた実例もございます。 市から依頼される事柄が多すぎて、本来の自治会運営ができなくなることは本末転倒でございますが、市の運営には、市民のお力が必要でありますので、引き続きご協力をお願いいたします。
--	---

令和 5 年度 市民トーク
相良地区（7/7 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	5.女性の区会役員等の選出について
内 容	女性の区会役員等の選出について意見を聞きたい。 【地域振興課】
回 答	自治会の役員選出につきましては、男女比など選出の基準などは設けておらず、あくまで自治会の判断にお任せしている状況です。 しかしながら、自治会の円滑な運営には、女性や若者など多様な考え方や意見が必要であることから、女性の役員登用は重要なことであると考えています。 参考までに、市で依頼している委員等については、市が設ける審議会の委員における女性の割合は3割以上、具体的な事例として農業委員会委員における女性の割合は3割以上に努めるなど、女性の参画を積極的に促しています。 自治会の運営においても、女性の参画により、「男性と異なる視点で自治会活動に取り組むことで気がつく面がある」、「女性の役員の方が比較的話しやすいため、住民との交流が進んだ」、「女性の場合は、周囲の理解を得られやすく、PTA や子ども会等といった、周辺の団体と連携が進んだ。」「避難所の授乳スペースやトイレの設置といった、男性とは異なる女性の視点からの防災という面で新しい気づきを与えることがある」といったことも、国の調査から指摘されています。

	市といたしましても、今年度策定予定である「男女共同参画推進計画」において、地域における女性登用並びに活躍の場を広げられるよう、協議をすすめてまいります。
--	---

令和 5 年度 市民トーク
相良地区（7/7 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	6.交通安全対策と放置車両の撤去について
内 容	旧 473 号線の池田屋さん南側の交差点に横断歩道の設置が可能か？ほかの交差点は横断歩道が設置されているが、ここには設置されていない。この道路は、高齢者が押し車で横断することが多く危険な箇所である。 T S U T A Y A 西側の駐車場に、数年前から車検が切れた赤い軽自動車が放置されている。 交番に相談したが、簡単には移動できないようだが、防犯上不要なものは撤去して欲しい。 【危機管理課】
回 答	1 つ目の横断歩道の設置につきましては、静岡県公安委員会が所管をしております。今回の横断歩道設置につきましては、既に大沢区よりご要望をいただき、牧之原警察署に市から申し入れをいたしましたが、道路形態や歩行者が少ないことを牧之原警察署が現地で確認し、既存の横断歩道との距離が近いなど設置基準を満たさないことから、横断歩道の設置はできないとの回答をいただきました。 2 つ目のご質問につきましては、今回のご質問で、放置車両の内容を市において把握したところであります。市では7月2日に現地確認を行い、牧之原警察署へ状況説明を行っております。

	ご質問の放置車両につきましては、現在、牧之原警察署において、関係者と協議を行っているとのこと。 なお、私有地に放置された自動車は、警察が所轄する法律での取り締まりができませんが、運転手や所有者が判明できた場合、警察から所有者に指導がなされ撤去されることもあります。放置された車両が盗難車の場合や犯罪に関与していた場合は警察が車両を移動し保管することもあります。 このように警察が対応してくれる場合もありますが、警察が対応できない場合は、土地を管理している管理者もしくは所有者が、自らで放置された自動車を処分することになります。 放置自動車があった場合には、まずは、警察へ相談をし、その後、警察へ「放置自動車の所有者の確認ができたか、できなかったのか」の問い合わせを行ってください。 警察から「確認ができたが所在不明のため対応できなかった」と回答された場合は、簡易裁判所へ所在不明の所有者を相手方として「妨害排除請求訴訟」及び「損害賠償請求訴訟」を行った上で自ら処分することができます。 「確認ができなかった」と回答された場合は、放置自動車を所有権が放棄された物権とみなし、土地所有者が放置された車両の所有権を取得したこととして、撤去、廃棄処分することができます。 手続きには裁判費用などの別途の費用がかかるとともに、裁判手続きなど、法律の専門的な知識が必要となるため、無料法律相談で弁護士等へ相談していただくなど、十分な検討をし、対応していただく必要があります。
--	--

令和 5 年度 市民トーク
相良地区（7/7 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	7.須々木地区の海岸防潮堤について
内 容	現在、津波対策施設として海岸堤防の工事が行われており、落居地区では一部防潮堤ができています。 須々木地区の海岸の防潮堤はいつ頃工事が始まり、完成する見込みの年はいつ頃になるか予測も含めて伺いたい。 【建設課】
回 答	須々木地区の海岸は、地頭方漁港北側から須々木川河口付近区間は島田土木事務所が管理する相良須々木海岸、須々木川河口付近から片浜の坂井港区間は御前崎港管理事務所が管理する相良港海岸に管理が分かれております。 須々木地区の防潮堤工事については、現在、島田土木事務所が整備を進めている地頭方地区の防潮堤の完了後に整備を予定しておりますが、現在の進捗では完了までに 10 年程度かかる見込みであります。 そのため、須々木区の海岸防潮堤は、令和 15 年ごろから工事に着手する見込みであると伺っておりますが、地元からの強い要望をいただきませんと、事業推進に必要な予算の確保が難しいので、今後も国や県に対して、地域の皆様の熱い思いを伝える要望活動などの機会を作ってまいります。 一方、相良港海岸については、現在、御前崎港管理事務所が、自然と景観に配慮した、地形の改変を極力抑えた堤防施設計画での検

	討を行っております。 今後、地元の皆様には、できるだけ早い段階で意見交換会等を行えるよう県と調整を図ってまいります。
--	--

令和５年度 市民トーク
相良地区（7/7 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	8.大沢地区の安全対策について
内 容	萩間川の大沢地区西側の道にガードレールを追加して欲しい。車の通りも多く、中学生が自転車で通学するので危険である。 大沢地区（萩間川西側の大沢地区の土手・大沢インター付近・消防署上の県道）の草木が大きくなり、通行に支障が出ているため切ってほしい。また、管理基準はあるか？ 【建設課】
回 答	ご質問をいただきましたが、具体的な場所（区間）がわからないため、今後、区と立会いを行い、詳細を確認したうえで、安全対策や草木の伐採の対応を考えてまいりたいと思います。 草木の管理基準はございませんが、市では走行する車両等を考慮しながら、必要に応じて主要な幹線道路を実施しており、地域の生活道路や農道につきましては、区の道路愛護運動や多面的機能支払い交付金事業などで草刈り等を実施していただいております。

令和５年度 市民トーク
相良地区（7/7 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	9.市有地の管理について
内 容	天の川と萩間川付近の旧テニスコート跡地の市有地の管理が悪い。 草だらけになっており、管理基準を知りたい。 【建設課】
回 答	旧テニスコート跡地の草刈りについては、職員や委託業者により毎年２回程度草刈りを実施しております。 今年度も現場の状況を確認しながら草刈りを実施し、地域の皆様に迷惑が掛からないように、適切に管理してまいります。

令和5年度 市民トーク 相良地区（7/7 開催） 質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	10.説明会の開催について
内 容	学校再編や国道 150 号バイパスの工事等についての説明会が、今年度予定されているか聞きたい。 【建設課・学校再編推進室】
回 答	まず、令和5年度に市民の皆様を対象に開催する学校再編に関する説明会についてお答えいたします。 今年度、広く市民の皆様を対象とする情報提供の機会として勉強会と報告会を予定しております。 勉強会は、新しい学校に向けて研究している教育プログラムについて8月、9月に1回ずつ、報告会は2月に開催する予定です。 いずれも、会の中で、学校再編の現状について、情報提供させていただく予定であります。 次に、国道 150 号バイパス（大沢から片浜新設区間）については、昨年度、道路が計画されている大沢・大江・片浜地区で区役員の皆様と意見交換会をさせていただきました。 現在、静岡県で道路計画の見直し案を策定している最中であるため、今年度説明会の予定はありませんが、今後、設計状況に応じて説明会の実施を県と調整してまいります。

令和 5 年度 市民トーク
相良地区（7/7 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	11.新型コロナウイルスにおける 5 類移行後の感染防止と行事参加について
内 容	新型コロナウイルスが 5 類に移行され、マスクなどは自己判断となったが、感染防止と行事参加について詳細を聞きたい。 【健康推進課】
回 答	感染防止についてですが、令和 5 年 5 月 8 日から新型コロナウイルス感染症は、インフルエンザと同じ 5 類感染症になりました。 コロナの診断を受けた場合は、発症翌日から 5 日間は外出を控えて療養するよう推奨されています。 今後は、どんな感染症が流行しても基本的な感染対策、例えば、うがい、手洗い、十分な睡眠、適度な運動、3 食バランス良く食事する。また、発熱等で体調が悪い時は外出を控えるなど、日々の体調をご自分で管理していただきたいと思います。 市ホームページに「新型コロナウイルス感染症対策」の中に「感染症に強い体をつくろう」のコーナーがありますので、参考にしてください。 次に行事の参加についてです。5 類へ移行後は、法律に基づく外出自粛を求める事は有りませんが、区の行事等を開催する際には、大勢の方が集まる場でもありますので、区民の皆さまには体調の悪い方はご遠慮いただくなど、室内行事の場合は換気を十分に行いながら、地域の絆づくりのために楽しく行事を開催していただければ良いと思います。

令和 5 年度 市民トーク
相良地区（7/7 開催）
質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	12.若者の定住と少子化対策について
内 容	第3次総合計画で令和12年に人口40,200人を目指す目標があるが、地域経済分析システムによると牧之原市の人口は2030年で「年少人口10.7%、生産年齢人口54.3%、老年34.9%」と出ている。 全国に比べて少子高齢化の傾向がみられるとの統計予測が出ている。 若者の定住と少子化対策としてどのような施策を行っていくのか伺いたい。
回 答	市長の市政説明で説明させていただきます。

「市民トーク（相良地区）」の当日参加者による追加質問

※会場での質疑応答になりますので、標記が口語体になる場合があります。

追加質問 1 静岡県総合防災アプリの登録について

「静岡県総合防災アプリ」というものがある。登録すると様々な情報が得られるが、市民に登録を発信していただきたい。

【回答（市長）】

アプリについては自分も既に登録しているが、まだまだ知らない市民の皆さんが多い。

自治行政連絡会などでパンフレットの配布や、公式LINEでも発信して周知する。牧之原市では2回竜巻の被害を受けた。県の市長会で災害の経験を周知させていただいている。

防災に対する備えはどれだけあってもやりすぎではないので、しっかりと周知し、登録者が増えるように取り組んで行く。

追加質問 2 自治会の運営マニュアルについて

今年はじめて町内会長になったが、町内会の運営をどうやっていくのか参考とするものが市のHP上になく、他市のものを参考にした。何をやるのかという不安を払しょくするためにも、一目でわかるものを是非公開して欲しい。

また、今後人口減少で自治会等の合併が想定されてくると思うが、市から指針を示してくれれば話を進めていく事ができるのではないかと思う。

市は自治会の運営に対してちゃんと支援をして欲しい。

【回答（企画政策部長）】

自治会の運営に関しては、あり方等のマニュアルがある程度整備されているので、ホームページ等で発信をしたいと考える。

区の中では、区独自で公式LINEを作って、発信を行い、情報共有や連帯感の醸成を

行っている区もある。このような参考となるモデルも発信していければと思う。

自治会等の合併については、自治会の問題と言うことではなく、市もしっかりと支援していく。先日視察した松川町では、市から地域コーディネーターを派遣し、丁寧に寄り添った支援をしていた。牧之原市でもどのように地域の皆さんの思いに応えられていく支援ができるのか検討したい。